

もりふれ倶楽部通信 NO. 34

ヤマウルシ



もりふれ倶楽部理事長 楨原道夫

例年では秋風が感じられる時期になりましたが、相変わらず連日 30 を越す猛暑日続き、温暖化は間違いなく人々の生活を脅かし生命の危険さへ感じさせます。

人の正常体温 36 、この値は人が正常に生命活動を維持しているしるし。身体を構成する無数の細胞がこの体温を作り出すべく様々な活動をしています。これが生きるということ。

外温が 36 近くになれば、細胞は体温を作り出すための活動をする必要がなくなり、生きるための必然性を失います。

しかし、この猛暑続きの中でも、自然は季節の移ろいを演出してくれます。森林の林縁部分や伐採等で日当たりのよくなった若い陽樹の雑木林には、パイオニア樹木であるヌルデ、ヤマハゼ、ヤマウルシ等のウルシ科ウルシ属の小高木が目につきますが、これらが心なし色づき始め紅葉の季節の到来を知らせてくれます。ウルシ属は一番先に紅葉する仲間です。今年も温暖化の中、素晴らしいもみじの秋を創出してくれるよう願っています。

ウルシ属と言えば樹脂に乳液ウルシオールを含み、塗料として用いられることは周知のことですが、特異体質の人は木に近づくだけで“ウルシかぶれ”と呼ぶ皮膚炎を起こすアレルゲンでもあり、人々に大変恐れられています。したがって、ヌルデ（奇数羽状複葉の葉軸に翼がある）ツタウルシ（つる性、3 小葉、茎は他物の上を這う）は区別が簡単ですが、ハゼノキ、ヤマハゼ、ヤマウルシの三者を区別できる人は案外少ないと思います。私も過去にかぶれた経験を持っていますので、なるべく避けて通ることになっています。

この 3 者の区別は、

ハゼノキは高木で奇数羽状複葉、互生で小葉は全縁、先は細くのびてとがる。葉や果実に毛がない。果実から蠟をとるため栽培されているものが多い。

ヤマウルシは小高木で日当たりのよい林縁や未発達の陽樹林に見られ、枝や葉に毛があり果実には剛毛がある。小葉は卵形か楕円形に近く幅広で、裏面には黄褐色の毛がある。葉の中軸は多くは赤色である。

ヤマハゼはヤマウルシ同様小高木で日当たりのよい林縁等に見られる。小葉は幅が狭く先が細くとがった感じがする。小葉の上面には蜜に毛があり、葉脈が明らかである。実はゆがんだ平たい球形で無毛。

次に ウルシ科 ウルシ属について 保育社。原色日本樹木図鑑の抜粋をあげておきます。

ウルシ科：主として熱帯に生える高木または低木で約 70 属 600 種ほどがある。葉は大部分互生で奇数羽状複葉である。材には樹脂道があり樹液の採取に主眼が置かれているものはウルシ属で、果樹として栽培されているものにはマンゴー属がある。

ウルシ属：本邦産はみな落葉性だが亜熱帯や熱帯地方には常緑のものがある。高木か低木で時に蔓性のものである。果実は核果で樹脂に富む、葉は 3 出または奇数羽状複葉でウルシは古くから栽培され優良な塗料としての漆液が採取されている。ハゼノキやウルシの果実からは木蠟をとりヌルデの葉につく五倍子はタンニンを提供。また、ウルシやハゼノキの心材は黄色で美しいので建築材としても用いられ、また腐りにくいので山地や小道の丸木橋には好適のものである。ただし人によってはウルシにかぶれるから注意が必要。この材を薪として煙を吸うと危険である。

津和野町「森の健康診断」からの考察

NPO法人もりふれ倶楽部 事務局長 野田真幹



昨年度からのべ100人により実施された津和野町での「森の健康診断」は、今年度の6月10日に、規定の基準で選ばれた町内の22か所の調査を終えました。

特に顕著な結果としては、22地点中9か所が超過密、8か所が過密と、77%が過密以上となり、光の入らない真っ暗な森林が、森の健康診断が実施されている場所での全国的な平均60%を上回っていることが見て取れます。

逆に、林分形状比は、14か所で75以下と64%が、80以下とすれば17か所で77%が合格ラインに入っています。

つまり、現在形状比は比較的良く、順調に育った木が多いが、森の状態は過密になってきているので、まさに、今、間伐すれば、良い状態で次世代へ森を引き継げるということでもあります。

ところが、裏を返せば、せっかく育ってきた木が、今、間伐をしなければ光の当たらない悪環境の中で徐々に弱ってゆき、台無しになってしまうということです。

このまま、間伐が遅れた状態の放置が続けば、1. 生物多様性が失われ、様々な動植物が死滅し、生活環境はもちろん、観光資源等としても掛け替えのない津和野の森の豊かな自然が失われることとなり、2. 植栽された樹木自身も弱ってゆき、個々の財産としての木が失われることとなり、3. 下層植生が生えないため、肥沃な上層部の土が流されてゆき、土壌も貧弱になってきます。その結果として、4. 土砂崩れ等、大災害にもつながります。

もちろん、国・県・町の施策により、森林組合等の林業事業体が集約された林業地帯を中心に間伐を進めてきています。しかし、まだまだ不十分なのが現状です。

現在、津和野町では、「山の宝でもう一杯」プロジェクトが進行中です。是非、このプロジェクトを活用して、次世代に素晴らしい津和野の森林を引き継いでいただきたいです。

昨年度の津和野町での成功により「木の駅プロジェクト」が島根県内で10か所近く取り組まれています。ただ、今年度、津和野町以外で「森の健康診断」を実施するのは奥出雲町のみのようなようです。愛知・岐阜他隣県の鳥取県智頭町で「木の駅プロジェクト」を成功に導いた丹羽健治氏は、「木の駅プロジェクト」と「森の健康診断」はセットでおこなうことが不可欠だと力説されています。9月17日(月・祝)奥出雲町で「森の健康診断」の1日を過ごしましょう。

津和野町森の健康診断の結果

第1回津和野町「森の健康診断」平成23年9月19日					
調査班	草と低木	林分形状比	平均樹間距離	相対幹距 (Sr)	
1	4-7	96	2.8	15	過密
2	4-5	75	2.4	12	超過密
3	8-10	73	2.8	12	超過密
4	2-18	65	2.8	23	適正
5	8-6	71	2.6	10	超過密
6	4-9	88	2.2	12	超過密
津和野町「森の健康診断」10月10日(追加実施分)					
調査班	草と低木	林分形状比	平均樹間距離	相対幹距 (Sr)	
1	7-10	86	2.1	13	超過密
	12-10	82	3	13	超過密
2	4-12	65	2.4	15	過密
	9-26	69	2.9	21	適正
3	7-12	62	2.9	13	超過密
	3-9	65	2.5	19	適正
第2回津和野町「森の健康診断」平成24年6月10日					
班	草と低木	林分形状比	平均樹間距離	相対幹距 (Sr)	
1	6-7	70	2.4	14	過密
	13-24	58	2.4	13	超過密
2	9-13	90	2.3	13	超過密
	8-8	67	2.9	21	適正
3	8-24	99	3.5	16	過密
	14-9	73	3	15	過密
4	5-10	77	2.9	19	適正
	11-13	88	2.7	14	過密
5	12-4	74	3.2	15	過密
	10-3	70	3.6	18	適正

調査地点は、国土地理院発行の2万5千分の1の地図の北緯・東経の1度ごとの交点に近接する人工林(スギ・ヒノキ・カラマツ)で容易に人が立ち入れる場所を実施。第2回で、津和野町内で実施可能な場所はほぼ終えた。

この表以外にも土壌や植物の被覆状態等、結果がでていますが、最も大切な部分を中心に掲載している。

林分形状比は、高さ太さの関係で木の体格のようなものである。75~80以下なら、雪害や風害に強い林であるといえる。

相対幹距 (Sr) が17~20%であれば林分の混み具合は適正。14~17なら過密、14未満なら超過密と判断される。

平成24年6月10日分に関しては、後日、確認作業の結果訂正があり、一部当日の報告会の報告とは違った結果となった。

奥出雲町で「ハイキング気分自然を満喫!」「スギ・ヒノキ林の健康状態がよ~くわかる!」

第1回森の健康診断やります!

全国的に市民レベルで実施されつつある「森の健康診断」を、奥出雲町において実施します!

対象~中学生以上で、ハイキングができる体力があり、自然や森が好きな方ならどなたでも!
下流部住民の方!周辺市町の方!是非ご参加ください!

日時・定員集合場所(申込み順に定員まで受け付けします。)

平成24年9月17日(月・祝)9時~17時

集合場所:カルチャープラザ仁多

(奥出雲町三成~となりが「サンクス」)

定員50名

集合場所のわからない方は遠慮なくご相談ください。地図等をお送りします。

平成24年9月14日(必着)で申込み締切とさせていただきます。

参加費~500円 弁当やお飲みものは、各自御持参ください。

当日の流れ~約8名の班に分かれ、午前・午後、それぞれ1箇所の森林(約2*メッシュの交点)で、簡単な道具を使ってスギやヒノキの混み具合、植物の葉が地面を覆っている割合、植物の種類数、落ち葉や土壌の厚さなどを計測・観察します。その他、豊かな自然環境の中で、林業の話や、植物・昆虫や野鳥の観察、歴史や文化の話なども交えて、楽しくて少しためになる1日を過ごします。暴風雨等、荒天の場合は室内等で午前中のみ別のプログラムを用意します。

今日1日だけ、山とじっくり向き合ってみましょう!老若男女すべて歓迎!

主催:奥出雲町オロチの深山きこりプロジェクト実行委員会・奥出雲町

共催:島根県東部農林振興センター雲南事務所・仁多郡森林組合・NPO法人もりふれ倶楽部



申し込み問い合わせ先

奥出雲町役場町民課環境政策室 電話0854-54-2540 FAX0854-54-1229

担当:津田、荒川

NPO法人もりふれ倶楽部 電話・FAX 0852-66-3586

Eメール morifure@coffee.ocn.ne.jp

住所・氏名・性別・年齢・電話番号・過去に森の健康診断参加の有無・メッセージを明記の上
FAX・Eメール、または電話にてお申込みください。

この事業は平成24年度公益社団法人島根県緑化推進委員会緑の募金公募事業として実施します。

平成24年度 もりふれ倶楽部の歩み

4月21日(土) 第1回大人のための自然観察会



ふるさと森林公園において、第1回大人のための自然観察会を開催しました。公園の中は春の花でいっぱいでした。

指導 中村正志 ボランティア 竹田正彦



4月27日(金) しまね森づくり Kommission 企業対応

島根県舗装協会の皆様約40名に対して、午前中は「森林保全の大切さの講義」と「コケ玉つくり体験」を提供させていただき、午後からは、舗装協会の皆様が森林公園全域のゴミ拾いボランティアを行っていただきました。

約40haの森林公園において普段手が届かない部分まできれいになりました。感謝です！

指導 中村正志、伊原千里、野田真幹

4月29日(日) 2012 森の誕生日



島根県・宍道湖西岸森と自然財団・島根県緑化推進委員会と共同主催で「森の誕生日2012」を開催しました。約8千人が来場し、ステージを含め、森の大切さをPRする様々なイベントが行われました。

スタッフ 洲濱寿晴、岡田邦博、中村正志、福岡茂明、松本尚子、宮崎照、宮崎詠二、竹田正彦、伊原千里、小林玲子、三枝鋼一、三枝共子、野々村俊成、長野和秀、玉木麗子、野田真幹、宮崎徳子

4月30日(土) もりふれ倶楽部通常総会

総会に先立ち、NPO 法人 JUON (樹恩) NETWORK 事務局長鹿住貴之氏を迎え「樹恩NETWORKの活動に関して」と題した講演をしていただきました。



5月3日(祝・木) 4日(祝・金) 森林ボランティア(布部小)

安来市立布部小学校の学校林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、竹林整備作業を行いました。

参加者 野々村俊成、青木宣雄、安達宏史、穂井田頼、三枝鋼一
遠藤文次、野田真幹

5月6日(日) 第1回里山自然塾～里山の宝、山菜を学ぼう！～

島根県からの委託事業「第1回里山自然塾～里山の宝、山菜を学ぼう！」を開催しました。30名の参加者は、2グループに分かれて、園内を散策し、食べられる山菜・野草採取しました。そして、奥出雲産の山菜とともに、天ぷらにしておいしくいただきました。午後は、野田事務局長から「しまねの里山の今」と題して話を聞きました。

指導 中村正志、野田真幹 ボランティア 百合澤博文、木村京子、野田あや子



5月12日(土) 奥出雲町阿井小学校対応



奥出雲町立阿井小学校全校生徒71名に対して、森林保全の大切さを伝える話しと木切れ工作体験の指導を行いました。生徒は1～6年生混成6チームに分かれ、それぞれ、島根県森林インストラクター等の指導により、動物等を作成しました。指導 野々村俊成、中村正志、野田真幹、宮崎徳子

5月12日(土)第2回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第2回大人のための自然観察会を開催しました。

指導 中村正志 ボランティア 百合澤博文



5月18日(金)しまね森づくりコミッション出前講座 1

しまね森づくりコミッションの出前講座の一環として、大田市立志学中学校全校14名に対して「森の大切さの講義」、「和紙づくり体験」、「木切れ工作」の指導を行いました。 指導 野田真幹、宮崎徳子



5月19日(土)森林ボランティア(布部小)

安来市立布部小学校の学校林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、竹林整備作業を行いました。

参加者 野々村俊成、青木宣雄、安達宏史、竹田正彦、遠藤文次、野田真幹

5月20日(日)第1回県民の森『里山の憩い講座』

県民の森『里山の憩い講座』第1回「竹筒で炊く筍ごはんづくりと春のコケ玉づくり」を開催しました。 指導 伊原千里、中村正志、野田真幹



5月22日(火)しまね森づくりコミッション出前講座 2

しまね森づくりコミッションの出前講座の一環として、奥出雲町立阿井小学校の4, 5, 6年生約40名に対して「森林教室」を行いました。

指導 田中賢治、野田真幹



5月23日(水)しまね森づくりコミッション出前講座 3

しまね森づくりコミッションの出前講座の一環として、松江市立玉湯中学校3年生54名に対して、「森林保全の大切さの講義」、「樹木観察」の指導を行いました。 指導 中村正志、野田真幹



5月24日(火)雲南市立西日登小学校対応

雲南市立西日登小学校5年生11名に対して、学校林で、ネイチャーゲーム指導を行いました。この事業は緑の募金の助成を得て行われています。

指導 野田真幹、宮崎徳子



5月25日(金)しまね森づくりコミッション出前講座 4

しまね森づくりコミッションの出前講座の一環として、邑南町立阿須那小学校全校生徒31名に対して「森の大切さの講義」、「ネイチャーゲーム」指導と、1~4年生22名に対して「木切れ工作」、5, 6年生9名に対して「樹木観察」の指導を行いました。

指導 中村正志、野田真幹



5月29日(火)しまね森づくりコミッション出前講座 5

しまね森づくりコミッションの出前講座の一環として、津和野町立木部小学校全校生徒16名に対して「森の大切さの講義」、「和紙作り体験」、「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。 指導 野田真幹、安達美香(アンダンテ21)

5月30日(水)しまね森づくり Kommission 出前講座 6

しまね森づくり Kommission の出前講座の一環として、吉賀町立柿木小学校 5年生 15名に対して「森の大切さの講義」、「和紙作り体験」の指導を行いました。 指導 野田真幹、安達美香(アンダンテ21)



6月6日(水)しまね森づくり Kommission 出前講座 7

しまね森づくり Kommission の出前講座の一環として、江津市立桜江小学校 5年生 22名に対して「森の大切さの講義」、「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。 指導 野田真幹、宮崎徳子

6月7日(木)安来市立布部小学校第1回みーもスクール

安来市立布部小学校 3~4年生 13名に対して、第1回みーもスクールとして学校林で樹木学習の指導を行いました。開校式にはみーもくんが登場し、子供たちは大喜びでした。 指導 中村正志、野田あや子、野田真幹



6月10日(日)第2回森の健康診断

津和野町主催の「森の健康診断」を同町内10か所のポイントで、約40名の参加者を得て実施しました。 コーディネイト 野田真幹

6月10日(日)第3回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第3回大人のための自然観察会を開催しました。 指導 中村正志 ボランティア 百合澤博文

6月12日(火)しまね森づくり Kommission 出前講座 8

しまね森づくり Kommission では、出前講座の一環として、大田市立高山小学校 3年~6年生 33名に対して「森の大切さの講義」、「ネイチャーゲーム」、「樹木観察」、「森林体験」の指導を行いました。 指導 中村正志、野田真幹



6月13日(水)しまね森づくり Kommission 出前講座 9

しまね森づくり Kommission では、出前講座の一環として、邑南町立口羽小学校全校生徒 18名に対して「森の大切さの講義」、「木切れ工作」の指導を行いました。 指導 中村正志、宮崎徳子

6月14日(木)雲南市立西小学校第1回みーもスクール

雲南市立西小学校 4年生 33名に対して、島根県東部農林振興センター雲南事務所と、第1回みーもスクール、学校林での樹木学習の指導を行いました。開校式にはみーもくんが登場し、子供たちは大喜びでした。 指導 野々村俊成、中村正志、福岡茂明、野田真幹



6月17日(日)第2回里山自然塾~笹と竹は友達! 笹巻きと竹トンボ~

島根県からの委託事業「第2回里山自然塾~笹と竹は友達! 笹巻きと竹トンボ」を開催しました。参加者 28名は、島根県森林インストラクターの野々村俊成氏より、午前は竹トンボ作り、午後からは本格派笹巻き作りを教わりました。笹巻きは野々村

家代々伝わる桔梗巻き（かんざし巻き、三味線巻きとも言う）を教えてくださいました。

講師 野々村俊成 ボランティア 野田あや子

6月16日（土）～17日（日）雲南市住民参加型木質バイオマス活用研修

雲南市主催の住民参加型の林地残材活用推進のための安全技術研修として津和野町を事例とした「木の駅プロジェクト」の説明、目立てを中心としたチェーンソーワーク研修、林地残材の採材・集材・運搬・搬入研修を実施しました。

コーディネイト 野田真幹



6月19日（火）しまね森づくり Kommission 出前講座 10

しまね森づくり Kommission では、出前講座の一環として、飯南町立来島小学校全校生徒80名に対して「森の大切さの講義」、「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。

指導 野田真幹、宮崎徳子

6月22日（金）しまね森づくり Kommission 出前講座 11

しまね森づくり Kommission では、出前講座の一環として、出雲市立湖陵小学校2年生44名に、「森の大切さの講義」、「ネイチャーゲーム」の指導、3年生45名に「森の大切さの講義」、「木切れ工作」の指導、5年生58名に「森の大切さの講義」、「和紙作り体験」の指導を行いました。

指導 野田真幹、宮崎徳子



6月24日（日）松江市城山周辺自然観察会

松江市樹木マップ作製実行委員会、松江市と共同主催で、城山周辺において、昨年度に松江市から発行された「樹木めぐり 城山周辺」を手に取り、そこで取り上げられた樹木や地域の史実をガイドに自然観察会を開催しました。約20名の参加者は、身近な樹木を改めて見直しながら観察しました。

スタッフ 州濱寿晴、廣江百合子、難波徹、野口朱美、国井加代子、中村正志、福岡茂明



6月24日（日）第1回神話の里さくらおろちの食べごと塾

ふるさと森林公園学習展示館において、NPO法人さくらおろちとの協働事業として、「第1回さくらおろちの食べごと塾」を開催しました。2年目のこのシリーズは、テーマを「食材」にして実施します。第1回である今回は、特選食材の「たきな（滝菜）」（滝のあるようなきれいな水の流れているところに、6月前後限定で食べられる希少な山菜）をはじめ「梅」「玉ねぎ」「そらまめ」「じゃがいも」「えんどう豆」「きゅうり」をテーマ素材として取り上げました。

講師 玉木麗子、藤原人美他



6月26日（火）松江市立母衣小学校第1回みーもスクール

松江市母衣小学校5年生84名に対して、第1回みーもスクールとして、「森林保全の大切さ」の講義と、間伐材を使った「フクロウのキーホルダー」づくりの指導を行いました。

指導 竹田正彦、中村正志、野田真幹



6月27日（水）しまね森づくり Kommission 出前講座 12

しまね森づくり Kommission では、出前講座の一環として、雲南市立海潮小学校5

年生21名に、「森の大切さの講義」、「和紙作り体験」の指導を行いました。 指導 野田真幹、宮崎徳子

6月28日(木) 島根県緑の少年団総会研修対応

ふるさと森林公園学習展示館において、島根県緑化推進委員会主催島根県緑の少年団連盟総会後の指導者講習会で、約40名の県内の小中学校の先生に対して「ネイチャートレッキング」、「森林保全の講義」、「和紙作り体験」の指導を行いました。 指導 中村正志、野田真幹



6月29日(金) しまね森づくりコミッション出前講座13

しまね森づくりコミッションでは、出前講座の一環として、出雲市立日御碕小学校3,4年生7名に、「森の大切さの講義」、「和紙作り体験」の指導を行いました。 指導 野田真幹、宮崎徳子



6月30日(土) 森林ボランティア(布部小)

安来市立布部小学校の学校林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、草刈り作業を行いました。

参加者 青木宣雄、野々村俊成、長野和秀、妹尾明美、中村正志、野田真幹



7月1日(日) 第3回里山自然塾~ヒノキの和紙でつくる竹の飾り灯明~

島根県からの委託事業「第3回里山自然塾~ヒノキの和紙でつくる竹の飾り行灯で情緒ある日本の夏の夜!」を開催しました。参加者28名は、間伐の大切さを学び、ヒノキの和紙を2枚作り、午後からは、和紙2枚を使ってつくる、竹の行灯を作りました。 指導 小笠原哲朗、中村正志

7月4日(水) 雲南市立西日登小学校対応

雲南市立西日登小学校5年生11名に対して、学校林で、「樹木学習」の指導をおこないました。この事業は緑の募金の助成を得て行われています。

指導 中村正志、宮崎徳子



7月14日(土) 第1回親子のための早朝自然観察会

ふるさと森林公園において、第1回親子のための早朝自然観察会を開催しました。

指導 中村正志 ボランティア 百合澤博文

7月14日(土)~15日(日) 津和野町研修

津和野町主催の「伐木造材のチェーンソーワーク」研修を同町内で、全国屈指のチェーンソー指導者、石垣正喜氏を招いて実施しました。



7月21日(土) 里山ものづくり体験

島根県立ふるさと森林公園学習展示館の来館者に対して「里山ものづくり体験~木の実でどうぶつをつくらう!」の指導をおこないました。島根県森林インストラクターの野々村俊成氏が、この日訪れた親子連れに、マツボックリ、ヤシャブシ、モミジバフウなどの乾燥させた実を使っての工作の指導を行いました。

指導 野々村俊成

7月27日(金)～28日(土) 森林を守ろう！ネットワーク会議東部研修対応

ふるさと森林公園学習展示館において、「森林を守ろう！山陰ネットワーク会議」島根県東部地区研修を開催しました。



8月5日(日) 第4回里山自然塾～フクロウのメモホルダー付ペン立てを作ろう～

島根県からの委託事業「第4回里山自然塾～里山木工教室！フクロウのメモホルダー付ペン立てを作ろう！」を開催しました。30名の参加者は、講師の竹田正彦氏の指導で、フクロウのメモホルダー付きペン立てを作成しました。

指導 竹田正彦



8月6日(月) しまね国際交流センター対応

ふるさと森林公園学習展示館において、しまね国際交流センターからの依頼で、日本、中国、韓国、ロシア4か国青少年28人に対して「森林保全の講義」、「ヒノキの和紙作り体験」の指導を行いました。

指導 野田真幹



8月9日(木) 奥出雲食育対応

奥出雲町の小学校職員の食育部会の研修で、昨年度の「神話の里さくらおろちの食べごと塾」の成果報告と戦前のおもてなし料理「飛竜頭」の調理体験を指導させていただきました。

指導 野田真幹

8月11日(土) 里山ものづくり体験

島根県立ふるさと森林公園学習展示館の来館者に対して回る竹プロペラ楽器「ガリガリくん」やとてもよく飛ぶ竹トンボづくりの指導をおこないました。島根県森林インストラクターの野々村俊成氏が、この日訪れた来館者に、竹プロペラや竹トンボを丁寧に指導しました。

指導 野々村俊成



8月12日(日) NPO 法人しんじ湖スポーツクラブ対応

宍道町古墳の森で行われた、NPO法人しんじ湖スポーツクラブ主催、夏休みわくわくキャンプにおいて、小学生約30名に竹プロペラ楽器「ガリガリくん」作りと「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。

指導 野々村俊成 野田真幹

8月18日(土)～19日(日)「C材で晩酌を！」実技研修と講演会

メイン講師に高知県からNPO法人土佐の森救援隊の事務局長中島健造氏を招き、奥出雲町の林地で、中島健造氏の直接指導による、注目の簡易集材システム「土佐の森軽架線」の設置と撤収研修と、翌日は「土佐の森軽架線」による集材研修を行いました。

18日の夜にはカルチャープラザ仁多にて、約50名を集めて講演会も行いました。

コーディネイト 響繁則、野田真幹 講師 大島重昭 他



もりふれ倶楽部今後の予定

9月8日(土) 9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

大人のための自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)

森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会へご案内します。(16歳以上のみ参加できます。)

参加者募集中:参加費100円 持ち物~カメラ持参をお勧め

前日正午まで申し込みをお受けします。

会員ボランティア募集中:9時~12時~若干の交通費補助支給

9月9日(日) 樹木診断講座 10時~12時 松江市城山公園 県庁前庭若月礼次郎銅像前集合

参加者募集中:参加費無料 定員30名 雨天決行 講師 佐藤仁志 他

午後13時30分から樹木医養成講座もあります。

9月17日(月・祝) 第1回 奥出雲町森の健康診断 本会報4ページ参照

9月23日(日) 10時~15時 里山の憩い講座 島根県民の森

森の健康診断体験&スギ染めと和紙づくり

参加者募集中:参加費500円 注.参加申し込みお問い合わせは、[0854-76-3119](tel:0854-76-3119) もりのす

9月30日(日) 10時~15時 里山自然塾「竹を楽しむ!竹で食べる!」

参加者募集中:参加費300円 場所:ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物~弁当・飲み物 定員20名(申し込み順)

10月8日(月・祝) 10時~15時 安来市立布部小学校学校林

森林ボランティア1日限りの作業班:竹林整備・遊歩道草刈り

参加者募集中:1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物~軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け

前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、若干の交通費補助を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

10月13日(土) 10時~15時 奥出雲町立高田小学校学校林

森林ボランティア1日限りの作業班:学校林整備

参加者募集中:1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物~軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け

前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、若干の交通費補助を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

10月14日(日) 10時~15時 里山自然塾「秋の里山でキノコを探そう!」

参加者募集中:参加費300円 場所:ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物~弁当・飲み物 定員30名(申し込み順)

10月20日(土)9時30分~11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

大人のための自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)

森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会へご案内します。(16歳以上のみ参加できます。)

参加者募集中:参加費100円 持ち物~カメラ持参をお勧め

前日正午まで申し込みをお受けします。

会員ボランティア募集中:9時~12時~若干の交通費補助支給

10月27日(土)10時~15時 森林ボランティア養成講座(上級編) ふるさと森林公園

第1回 刈り払い機で山を刈る 参加資格 刈り払い機で草刈りをした経験があること

参加者募集中:参加費1,000円(目立てをした笹刈刃借料を含む) 定員10名(先着順)

基本的に刈り払い機は持参・作業のできる服装で雨天時は雨具も持参

11月2日(金)~4日(日)

「森林と市民を結ぶ全国の集い2012 in 神々の国・島根」開催!

11月10日(土)9時30分~11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

大人のための自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)

森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会へご案内します。(16歳以上のみ参加できます。)

参加者募集中:参加費100円 持ち物~カメラ持参をお勧め

前日正午まで申し込みをお受けします。

会員ボランティア募集中:9時~12時~若干の交通費補助支給

11月11日(日)10時~15時 秋の散策とコケ玉づくりを楽しもう!

参加者募集中:参加費300円 場所:ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物~弁当・飲み物 定員20名(申し込み順)

11月18日(日)10時~15時 里山の憩い講座 島根県民の森

どんぐり料理と焼き芋・飾り炭づくり

参加者募集中:参加費500円 注.参加申し込みお問い合わせは、0854-76-3119 もりのす

もりふれ倶楽部では、常に会員を募集中です!

年会費2,000円 入会金1,000円です!

もりふれ倶楽部会報

NO.34

〒699-0406 松江市宍道町佐々布3352

ふるさと森林公園学習展示館内 もりふれ倶楽部

TEL(0852)66-3586 FAX(0852)66-3586

[メール morifure@coffee.ocn.ne.jp](mailto:morifure@coffee.ocn.ne.jp)

ホームページ <http://www.morifure.jp/>